

令和元年度一般会計決算審査特別委員会会議録（第8号）

1. 日 時 令和2年10月16日（金）午前10時

2. 場 所 議会棟3階 議場

3. 出席委員は次のとおりである。

委 員 長	仲 里 邦 彦	副委員長	仲 間 烈
委 員	比 嘉 克 政	委 員	又 吉 正 信
委 員	金 城 大 輔	委 員	稲 嶺 伸 作
委 員	下 地 惠 典	委 員	古 波 蔵 保 尚
委 員	真 栄 城 玄 誠	委 員	伊 礼 研 一
委 員	西 銘 健		

4. 欠席委員は次のとおりである。

な し

5. 委員会条例第19条の規定により出席した者は次のとおりである。

〔総務部〕

総 務 部 長	新 垣 剛	契約検査課長	又 吉 清
総 務 課 長	我 部 政 仁	職 員 課 長	金 城 智 昭
防 災 危 機 管 理 室 長	島 袋 才 明	行 政 改 革 推 進 室 長	仲 里 哲

〔財務部〕

財 務 部 長	石 原 正 常	市 民 税 課 長	宮 城 篤 直
財 政 課 長	大 城 博 郎	資 産 税 課 長	仲 地 政 直
財 産 管 理 課 長	喜 舎 場 三 弘	納 税 課 長	國 吉 啓 朗

6. 職務のため出席した者は次のとおりである。

議 事 係 長	吉 長 聖 哲	主 事	藤 田 勝一郎
---------	---------	-----	---------

7. 議題は次のとおりである。

議案第51号 令和元年度浦添市一般会計歳入歳出決算認定について

※ 上記付議事件については、説明聴取～質疑～討論～表決

○ 仲里邦彦 委員長 これより本日の会議を開きます。 (開議時刻 午前10時04分)

これより総務部所管に係る一般会計決算審査を行います。

所管部長の総体的説明を求めます。新垣 剛総務部長。

○ 新垣 剛 総務部長 それでは、これより令和元年度浦添市一般会計歳入歳出決算について、総務部が所管いたします事項につきまして総体的に御説明いたします。まず、歳入について御説明いたします。総務部が所管します9款分担金及び負担金、10款使用料及び手数料、11款国庫支出金、12款県支出金、13款財産収入、17款諸収入の歳入総額は3,455万6,871円で、前年度と比較いたしますと1,549万7,395円、率にして81.3%の増となっております。歳入増につきましては、防災危機管理室の沖縄観光防災力強化支援事業費補助金の583万200円の増額、沖縄振興特別推進交付金一括交付金の505万円の増額、コミュニティ助成金の390万円の増額が主な要因となっております。続きまして、歳出について御説明いたします。総務部の歳出総額は57億4,739万3,043円で、前年度と比較いたしますと1億8,667万4,303円、率にして3.4%の増となっております。歳出増につきましては、防災危機管理室の防災行政無線システム運営事業で7,506万889円の増額、沖縄観光防災力強化支援事業で647万8,000円の増額、職員課の職員給与費合計で7,915万1,707円の増額、また本年度より財産管理課から契約検査課に移管されました庁舎管理事業で1,622万6,620円の増額などが主な要因となっております。以上、総務部が所管する令和元年度浦添市一般会計歳入歳出決算を総体的に御説明いたしました。詳細につきましては、担当課長から御説明させていただきます。御審議のほどよろしく願います。

○ 仲里邦彦 委員長 次に歳入9款の説明を求めます。又吉 清契約検査課長。

○ 又吉 清 契約検査課長 決算書の23ページ、24ページを御覧ください。9款2項2目総務費負担金241万6,000円は、契約検査課所管でございます。この件について御説明いたします。備考欄1水道事業契約事務負担金は、契約の一元化として本庁職員の契約業務に関わる職員が水道事業の契約を行うため、地方公営企業法第17条の2第2項により、経費負担の原則として負担金を徴収するものであります。前年度と比較いたしまして増減はございません。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 9款に対する質疑を許します。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、次に10款の説明を求めます。又吉 清契約検査課長。

○ 又吉 清 契約検査課長 決算書の25ページ、26ページを御覧ください。10款1項2目総務使用料の契約検査課所管分について御説明いたします。備考欄1庁舎電気使用料でございますが、収入済額が99万1,928円となっております。庁舎内に設置しております銀行ATMや自動販売機などの電気の使用料でございます。次に、備考欄2施設使用料のうち、(1)施設使用料40万9,058円が契約検査課所管分となります。銀行ATMや自動販売機などの庁舎の使用に係る使用料でございます。次に、備考欄3職員駐車場使用料が166万7,000円で、庁舎敷地内に使用を許可しております乗用車4台、オートバイ130台の使用料となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 我部政仁総務課長。

○ 我部政仁 総務課長 説明の前に、総務課所管につきましては防災危機管理室を含めまして、総務課所管として説明させていただきたいと思いますので、よろしく願います。10款2項2目につきましては、

決算書ではなく総務課の歳入決算調書の1ページ目を御覧ください。10款2項2目総務手数料の行政不服審査法関連手数料は、総務課所管でございます。当該手数料は、行政不服審査法の審査請求に関わる書面等の写しの交付手数料であります。令和元年度は交付がなかったため、決算書への記載はございません。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 10款に対する質疑を許します。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、続きまして11款についての説明を求めます。我部政仁総務課長。

○ 我部政仁 総務課長 続きまして、決算書の42ページを御覧ください。11款2項2目1節総務管理費補助金、備考欄4の沖縄観光防災力強化支援事業費補助金は、総務課の所管でございます。本補助金は、令和元年度からの新規事業となります。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 11款に対する質疑を許します。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、次に12款の説明を求めます。我部政仁総務課長。

○ 我部政仁 総務課長 決算書の60ページを御覧ください。12款2項2目1節総務管理費補助金、備考欄2の沖縄県市町村支援事業補助金(9.5/10)は、総務課の所管でございます。対前年度比90万円、率にすると20.4%の増となっております。その主な要因としましては、避難区域に医療機関が含まれる不発弾処理があったため、その避難等特殊対応経費が生じたためでございます。続きまして、70ページを御覧ください。12款2項11目1節沖縄振興特別推進交付金、備考欄1の(1)沖縄振興特別推進交付金(総務課)は、総務課所管でございます。前年度は交付金対象事業がありませんでしたが、今年度は災害時備蓄食糧購入強化促進事業、災害時備蓄食料保管倉庫等整備事業の2事業が交付金対象事業になってございます。続きまして、76ページを御覧ください。12款3項2目1節総務管理費委託金、備考欄1自衛官募集業務委託金は、総務課の所管でございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 12款に対する質疑を許します。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、続きまして13款の説明を求めます。又吉 清契約検査課長。

○ 又吉 清 契約検査課長 決算書の79ページ、80ページを御覧ください。13款財産収入、1項、2項の契約検査課所管分について御説明いたします。1項1目1節土地貸付収入、備考欄3のうち(1)職員駐車使用料(あかひらステーションビル)7万2,000円が契約検査課所管分となっております。続きまして、2節建物貸付収入の備考欄1建物賃貸料でございますが、市庁舎1階市民ロビーに設置しております自動証明写真機に係る賃借料で、収入済額が141万7,000円となっております。次に、決算書81ページ、82ページを御覧ください。2項2目物品売払収入の備考欄2のうち(1)廃棄車両売払収入(財産管理課)1万6,200円が契約検査課所管分でございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 13款に対する質疑を許します。西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 80ページの13款1項1目2節建物貸付収入の備考の1建物賃貸料について、自動証明

写真機の貸付部分ですよという説明があったかと思いますが、当初予算額と収入済額との関係で対予算収入率が134%ということの説明をお願いします。

○ 仲里邦彦 委員長 又吉 清 契約検査課長。

○ 又吉 清 契約検査課長 当該使用料につきましては、令和元年度に再度入札がございまして、その入札金額、入札額が増えたということでございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑ございませんか。

（「進行」と言う者あり）

○ 仲里邦彦 委員長 ないようですので、次に歳入17款についての説明を求めます。我部政仁総務課長。

○ 我部政仁 総務課長 決算書の92ページを御覧ください。17款4項3目2節総務費雑入、備考欄1総務管理費雑入の（1）コピー使用料（総務課）、ページめくりまして94ページ、（13）コミュニティ助成金（総務課）、（21）防災・減災費用保険金（総務課）は、総務課所管でございます。（13）のコミュニティ助成金は、自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として助成を行っているもので、地域防災組織育成助成事業として令和元年度採択された事業でございます。（21）防災・減災費用保険金は、対前年度マイナス309万1,478円、率にすると68%の減となっております。その主な要因としましては、台風襲来が平成30年度から減ったことに伴い、台風配備要員の人件費が減となっているためでございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 又吉 清 契約検査課長。

○ 又吉 清 契約検査課長 決算書の91ページ、92ページを御覧ください。3目2節総務費雑入の備考欄（6）再生利用物売払金4万5,790円、ページをめくっていただいて94ページ、（19）広告収入料（財産管理課）38万2,500円、（20）自動車損害共済解約返戻金（財産管理課）5,173円が契約検査課所管でございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 金城智昭職員課長。

○ 金城智昭 職員課長 決算書の94ページから96ページでございます。まず、94ページ、備考欄（7）沖縄県市町村職員共済組合助成金及び受診者負担金1万4,580円、（8）沖縄県市町村振興協会研修助成金（職員課）92万4,057円、（9）雇用保険料185万1,975円、（14）旅費精算返納金5万6,400円、（17）過年度給与等返納金4万4,990円、（18）雇用保険料（再任用職員）8万7,509円、続きまして96ページをお開きください。（27）沖縄県市町村総合事務組合負担金返還金247万1,700円が職員課所管分でございます。合計で545万1,211円、対前年度比で249万9,855円、84.7%の増でございます。その主な理由としましては、（27）沖縄県市町村総合事務組合負担金返納金につきまして、前副市長が退職金を受け取らなかったことによる負担金の返還による増でございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 歳入17款に対する質疑を許します。

（「進行」と言う者あり）

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、歳出に移ります。2款1項の説明を求めます。我部政仁総務課長。

○ 我部政仁 総務課長 決算書126ページを御覧ください。備考欄11市政情報センター事業は、総務課の所管でございます。対前年度2万1,796円、率にして4.6%の増でございます。続きまして、134ページを御覧ください。備考欄24総務課事務費、25顧問弁護士事業、26防災事業は、総務課の所管でございます。24総務課

事務費は、対前年度22万4,793円、率にして4.4%の減でございます。26防災事業につきましては、対前年度263万3,281円、率にして15.7%の減でございます。これは、台風襲来が平成30年度から減ったことに伴い、台風配備要員の時間外勤務手当が減となったことが主な要因でございます。ページをめくりまして、136ページを御覧ください。27防災行政無線システム運営事業は、総務課の所管でございます。対前年度比7,506万889円の増となっております。防災行政無線のデジタル化工事による増が主な要因でございます。続きまして、140ページを御覧ください。備考欄36災害時備蓄食糧購入強化促進事業、37災害時備蓄食料保管倉庫等整備事業は、総務課の所管でございます。36災害時備蓄食糧購入強化促進事業では、アルファ米と飲料水のほか、液体ミルクを購入しております。37災害時備蓄食料保管倉庫等整備事業では、避難所等における電気及び水、トイレ等の確保を行うとともに、備蓄食料をはじめ必要な物資を保管するための防災倉庫を設置しております。ページをめくりまして、142ページを御覧ください。備考欄42浦添市統合型防災情報システム構築事業は、総務課の所管でございます。対前年度比455万3,612円の増となっております。これは、平成29年度に構築した防災情報システムが保守対象となったことが主な要因でございます。続きまして、144ページを御覧ください。備考欄43行政不服審査法関連事業、45沖縄観光防災力強化支援事業、46新型コロナウイルス感染症緊急対策事業は、総務課の所管でございます。45沖縄観光防災力強化支援事業は、防災リーフレットの作成、避難誘導標識の制作をしております。46新型コロナウイルス感染症緊急対策事業では、感染症対策としてマスクの購入及び臨時休校した小学校、学童にやむを得ず登校する児童への軽食提供をしております。続きまして、決算書146ページを御覧ください。2款1項2目、備考欄4例規管理事業、備考欄5文書管理事業は、総務課所管でございます。4例規管理事業は、対前年度比90万9,724円の増となっております。その主な要因といたしましては、例規整備に関する情報提供を受ける例規支援システム使用料の増によるものでございます。5文書管理事業は、対前年度比177万8,878円、率にして9.1%の減でございます。その主な要因は、臨時職員の賃金及び共済費、備品購入費の減によるものでございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 又吉 清 契約検査課長。

○ 又吉 清 契約検査課長 決算書の141ページ、142ページをお開きください。2款1項1目一般管理費、契約検査課所管について御説明いたします。説明欄の40契約検査課事務費は91万9,921円で、前年度と比較しまして56万6,140円の増、率にしまして160%の増となっております。増の主な要因といたしましては、係長級職員1人の産前産後休暇、育児休暇に伴う事務の補填により時間外勤務が発生したことによる手当の増が主な要因となっております。続きまして、説明欄41契約検査事業は615万1,603円で、前年度と比較しまして27万6,983円の減、率にしまして4.31%の減となっております。次に、決算書の149ページ、150ページを御覧ください。2款1項5目財産管理費、備考欄2庁舎管理事業2億5,792万1,202円、前年度と比べ1,622万6,620円、率にして6.7%の増となっております。市庁舎の修繕費の増などが主な要因でございます。ページをめくっていただいて、151ページ、152ページ、備考欄3車両管理事業1,044万4,891円、前年度と比べ156万1,200円、率にして13%の減となっております。契約検査課が所管する庁用車両21台、原付バイク1台の管理事業でございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 金城智昭職員課長。

○ 金城智昭 職員課長 決算書の136ページから142ページとなります。まず、136ページ、備考欄28職員課事務費981万4,387円、29臨時嘱託職員雇用事業662万2,408円、続きまして138ページの備考欄30職員採用試験

事業291万5,784円、31職員表彰事業5万円、33職員福利厚生事業2,354万6,873円、続きまして140ページの備考欄34職員研修事業842万3,475円、続きまして142ページの備考欄39人事給与及び庶務事務システム運営事業1,197万2,778円は、職員課所管分でございます。前年度と比較して増減額が大きなものでございますが、28職員課事務費につきましては、前年度と比較しまして147万4,554円の増、率にして17.7%の増となっております。増加の主な要因でございますが、会計年度任用職員の制度創設に係る利益整備等支援業務委託料の増によるものでございます。次に、29臨時嘱託職員雇用事業につきましては、前年度と比較しまして179万4,307円の増、率にして37.2%の増となっております。増の主な要因でございますが、報酬に係る雇用保険料の増によるものでございます。次に、33職員福利厚生事業につきましては、前年度と比較しまして89万6,019円の増、率にして4%の増となっております。増の主な要因でございますが、平成30年度において健康管理嘱託員の年度途中の退職により不在が生じた期間がございましたが、令和元年度は通年どおりの支出となったことにより増となったものでございます。なお、平成30年度に実施しました議員報酬等審議会事業につきましては、3年から4年をめどに開催する事業でございまして、令和元年度は皆減となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 仲里 哲行政改革推進室長。

○ 仲里 哲 行政改革推進室長 それでは、決算書の138ページをお開きください。2款1項1目総務管理費のうち備考欄32行政改革推進事業、続きまして決算書140ページをお開きください。備考欄38行政改革推進室事務費が行政改革推進室の所管でございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 歳出2款1項1目、2目、5目に対する質疑を許します。西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 126ページの備考の11市政情報センター事業について、歳出調書のほうにも、歳出の1のほうにも調書にはありまして、その中で情報公開及び個人情報保護制度運営審議会委員の報酬があつて、内容の説明は5回開催予定だったが、4回の実施になりましたよということで説明はありますが、その審議の内容についての説明を求めます。

○ 仲里邦彦 委員長 我部政仁総務課長。

○ 我部政仁 総務課長 この情報公開及び個人情報保護制度運営審議会のほうでは、主に個人情報を外部提供する場合に担当課のほうから諮問していただいて、それが外部提供するかどうか、妥当なのかどうかというところを審議していただいております。以上となります。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 答えられる範囲で、どういう諮問があつて、答申、妥当だったという答申だったのか、それとも妥当ではないよということの答申だったのかお聞きいたします。

○ 仲里邦彦 委員長 我部政仁総務課長。

○ 我部政仁 総務課長 諮問のほうは、例えば都市計画事業に関わる住民説明会とか地権者への文書案内等行うために、宛先とか住所、氏名とか外部提供していいかどうかというような審議内容となります。令和元年度にありました審議内容が合わせて15件あった形になるのですが、この15件全てにおいて諮問は外部提供しても問題ないということで答申を受けておるところでございます。以上となります。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 15件諮問があつて、15件答申としては提供してもいいよという、これ諮問されるとい

うことは、当局としては当初担当課は情報提供しないよということを決定したから審議に行ったという流れですか。流れのほう説明をお願いします。

○ 仲里邦彦 委員長 我部政仁総務課長。

○ 我部政仁 総務課長 流れとしましては、担当課のほうがある事業を進めるために個人情報を外部のほうに、例えば委託とかするときに、この委託の範囲内においてどうしても必要性があるということで外部の有識者のほうに意見を聴くために諮問する形になりますので、担当課のほうでどうしても外部提供が必要という形で判断されたときに諮問として出される内容となっております。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 ちょっと確認なのでけれども、では担当課は決定する前に諮問しているという形ですか。

○ 仲里邦彦 委員長 我部政仁総務課長。

○ 我部政仁 総務課長 外部提供する前に担当課のほうは基本的には諮問していただく形となります。以上となります。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 その下というか、審査会のほうも開催があるようですけれども、その審査会はちなみにどのような審議をした、審査をしたのか説明をお願いします。

○ 仲里邦彦 委員長 我部政仁総務課長。

○ 我部政仁 総務課長 情報公開及び個人情報審査会のほうになるのですが、こちらのほうは本市の情報公開条例に基づき開示の請求、また個人情報保護条例に基づき自己情報開示請求がなされることがあります。それに対して、やっぱり個人情報の保護にも配慮しながら開示、非開示、一部開示という形で決定する形になるのですが、その決定に対して不服がある場合にこの審査会のほうに諮問する形になります。以上となります。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 ちなみに、何件の審査があったのか。その審査の結果もお聞きいたします。

○ 仲里邦彦 委員長 我部政仁総務課長。

○ 我部政仁 総務課長 令和元年度は2件審査請求がありまして、これに対しては担当課の判断どおりという形で審査会のほうでは答申をいただいているところであります。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 分かりました。次の部分に移りますけれども、140ページのほうです。説明がありました備考の36の災害時備蓄食糧購入強化促進事業について、主要施策の成果等説明書のほうにも8ページに説明があるのですが、これにはアルファ化米と飲料水のほうはあるのですが、先ほど説明があった、液体ミルクも整備しましたという説明があったので、液体ミルクはどれくらい整備したのかをお聞きいたします。

○ 仲里邦彦 委員長 島袋才明防災危機管理室長。

○ 島袋才明 防災危機管理室長 お答えします。液体ミルクのほうは100個購入しております。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 災害時に確かに乳児に対してミルクをどうやって提供していくのかというのは大事なところだと思いますけれども、その100個を整備して十分なのか、それともまだ必要なのか。乳幼児がどれくらいいて、何日分の液体ミルクを整備する。ちなみに、計画の目標だとかがあるのかどうかお伺いいたします。

○ 仲里邦彦 委員長 島袋才明防災危機管理室長。

○ 島袋才明 防災危機管理室長 液体ミルクに関しては、去年初めて100個購入しているのですが、委員のおっしゃるように計画がちょっとまだ具体的に、何人実際必要でということで具体的な数字は持ち合わせておりませんので、その点をちょっと今後整理して備蓄計画等を計画していきたいと考えております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 保管が利くと、保存が利くというものだと思いますので、ぜひ計画的にどれだけ必要なのか、浦添市として乳幼児どれだけいて、どれだけ必要でというしっかりこれ策定していただきたいと思います。もしかしたら離乳食も保管が利くものがあれば、その辺も必要なのかなという気もするので、ぜひやっていただきたいと思います。離乳食についても検討いかがでしょうか。

○ 仲里邦彦 委員長 島袋才明防災危機管理室長。

○ 島袋才明 防災危機管理室長 委員のおっしゃるとおり、離乳食も研究して今後備蓄として取り入れていく方向で考えたいと思います。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 150ページの2の庁舎管理事業もこちらで聞いてもいいのですか。大丈夫ですか、庁舎管理事業。大丈夫ですか。その中で、(3)の委託料の中に東側駐車場のり面健全度調査があると思うのですけれども、その結果をお伺いいたします。

○ 仲里邦彦 委員長 又吉 清契約検査課長。

○ 又吉 清 契約検査課長 東側駐車場のり面健全度調査委託は、東側駐車場へ一部亀裂が確認されたことよりのり面の状態を調査し、危険の有無を確認する業務を行いました。当初土質調査を予定していたのですが、都市建設部や土木コンサルタント会社より助言をいただきまして、のり面健全度調査に変更し実施しております。調査結果でございますが、現状では緊急性のある状態ではなく、今後注視しながら、経過観察を行っていく考えでございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑ございませんか。稲嶺伸作委員。

○ 稲嶺伸作 委員 144ページの2款総務費、1項総務管理費の備考のところの46新型コロナウイルス感染症緊急対策事業、これ調書見させていただいていますけれども、マスク購入、緊急購入22万円とあるのですが、1枚当たりの単価は幾らで購入今回できたのでしょうか。

○ 仲里邦彦 委員長 島袋才明防災危機管理室長。

○ 島袋才明 防災危機管理室長 1枚22円です。

○ 仲里邦彦 委員長 稲嶺伸作委員。

○ 稲嶺伸作 委員 分かりました。ありがとうございます。その上、同じく備考欄、144ページの上の沖縄観光防災力強化支援事業、こちら防災リーフレットの作成と看板制作、取付けとあるのですけれども、その

使い方とか展開の仕方とかというところをもうちょっと補足説明いただきたいと思います。

○ 仲里邦彦 委員長 島袋才明防災危機管理室長。

○ 島袋才明 防災危機管理室長 この沖縄観光防災力強化支援事業、大規模災害が発生したときに市内で足止めされる外国人、観光客等に災害等を周知するために実施している事業なのですが、今回防災マップを英語、韓国語、中国語の簡体字、繁体字ということで4外国語と日本語、各1,200枚、6,000枚作成しております。市内に例えば観光施設でしたらブルーシールでしたり、市内施設でしたらようどれ館でしたりあるのですが、ああいうところに配布して、不慣れな県外、市外、国外から来た方、特に外国人とか、その方々に防災上の危ないところとか、そういうところを周知する目的で各所に配布して利活用しております。あと、看板についても外国人の方々は日本語とか当然不慣れですので、絵文字といいますか、ピクトグラムという表記を用いた看板を用いて避難所がどこにあるのかとか、そういう案内を今回行っておる事業でございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 稲嶺伸作委員。

○ 稲嶺伸作 委員 このリーフレットと看板なのですが、浦添市でそういう一から全部制作をするのか、それとも県がデザインとか中身をみんな決めたものを市内業者に制作から取付け、配布というところ以降を市が行うのかお尋ねしたいです。

(「休憩お願いします」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。

(休憩時刻 午前10時43分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。

(再開時刻 午前10時43分)

島袋才明防災危機管理室長。

○ 島袋才明 防災危機管理室長 防災マップにつきましては、以前から何度かリニューアルしている状況であるのですが、それを基に委託業者と中身のデザインとかは詰めて、リニューアルして作った状況です。あと、ピクトグラムの看板についてもまたこの業者とちょっと詰めて、どういうデザインがいいかということで独自にやっております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 稲嶺伸作委員。

○ 稲嶺伸作 委員 分かりました。ありがとうございます。あと、もう一つだけさせていただきたいのですが、140ページの備考の災害時備蓄食糧購入強化促進事業の期限が切れた備蓄食料品の活用方法というのか、処理という言葉使っているのか分からないのですが、これはどういう実績というのか、どういう内容でしょうか。

○ 仲里邦彦 委員長 島袋才明防災危機管理室長。

○ 島袋才明 防災危機管理室長 5年でアルファ米は切れるのですが、切れる前に自治会とか保育所とか防災の何かイベントとか、そういうもので、イベント等防災訓練を行っていただいた後にアルファ米がどんなものだよということは、ちょっと皆さんで体験してもらおう一環で提供しております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 稲嶺伸作委員。

○ 稲嶺伸作 委員 例えば今回コロナの件で困窮世帯の食料品の必要な御家族とか家庭があったと思うのですが、社会福祉協議会とかフードドライブ、そういうところにも、アルファ米で自治会で使い方とかを体験させるという考えは大変よろしいのですが、またそういうものとは別途、困窮世帯等、フー

ドドライブ等に回せるようなものは提供を行ったりしていますか。

○ 仲里邦彦 委員長 島袋才明防災危機管理室長。

○ 島袋才明 防災危機管理室長 確かに委員おっしゃるとおり、困窮世帯とか、今回保護課とかにも案内して、実は5年で切れるお米自体が50人分でしたか、大きくまとまったタイプなのです。個別でしたら配布等は簡単なのですけれども、ちょっと大きい50人分ぐらいのタイプだったもので、保護課ともちょっと実験というのですか、個別で分けて、お湯とか水を入れて食べれるかどうかというのをちょっとやってみまして、それで一旦どうにか食べれるという状態ですけれども、それでどうにか保護課等を通して配るのもできるということでやっております。今後もそういう感じで保護世帯等も含めた、母子世帯も含めたところに利活用できるように検討していきたいと思います。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 稲嶺伸作委員。

○ 稲嶺伸作 委員 では、子ども食堂とか、そういうところでも小分けしてやるというよりは、実際作って食べてもらうような子ども食堂の展開も可能かなと思うので、取りあえずそこは提案させていただいて、以上です。ありがとうございます。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかにございませんか。伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 まず、136ページ、備考の27ですけれども、防災行政無線システム運営事業ですけれども、この工事、具体的にどういう工事をして、先ほどデジタル化という話もありましたけれども、具体的にどういう工事がなされたのか伺います。

○ 仲里邦彦 委員長 島袋才明防災危機管理室長。

○ 島袋才明 防災危機管理室長 今現在この対象となる無線は、沿岸部に主についている防災行政無線なのですけれども、今現状でアナログで運営しているのですが、総務省のほうで次年度でしたか、アナログからデジタルに切り替えるという国のほうで作業が行われるのですけれども、それに伴って受信ができなくなりますので、デジタル化に向けて今切替えの工事を行っている現状でございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 具体的にこのデジタル化が進んだ場合、まずいつ頃にこれが完成するのか、そこから伺います。

○ 仲里邦彦 委員長 島袋才明防災危機管理室長。

○ 島袋才明 防災危機管理室長 完成は、今年度末までに予定しております。運用は、次年度夏ぐらいから予定しております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 この海側に置いている、海岸側に置いている無線のマイクというのですか、アナウンスというのですか、どういうものなのですか。休憩をお願いします。

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。

(休憩時刻 午前10時49分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。

(再開時刻 午前10時50分)

伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 西海岸開発に伴ってあの辺が整備されたことによる防災無線の数、どのようになったのか伺います。

○ 仲里邦彦 委員長 島袋才明防災危機管理室長。

○ 島袋才明 防災危機管理室長 お答えします。今現状でアナログタイプが24基ついておりますが、西海岸開発に伴いまして、1基増で25基、デジタル化に向けて今整備進めております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 ありがとうございます。次に、140ページの、先ほどから何回か出ています備蓄米の件ですけれども、備蓄米というか、米だけではないですけれども、これは3日分の目標を立てているということですが、現状の1万4,400食と、あるいは水は6,360本、何リットルか分かりませんが、これが3日分ということになっているのでしょうか。

○ 仲里邦彦 委員長 島袋才明防災危機管理室長。

○ 島袋才明 防災危機管理室長 令和元年度、今回の整備では交付金を活用しまして、主要施策にも載っておりますけれども、浦添市役所、浦添高校、浦添商業に交付金を活用しましてアルファ化米を整備しまして、あと5年前のものの入替え分として、これは単費を使いまして仲西小、浦城小、宮城小、港川中入替えを行っております。1万4,400食今回入れておりますけれども、実際ちょっと今目標としています充足率というのがあるのですけれども、充足率で今76.22%となっております。なので、目標としています100%にまだ届いていない現状でございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 ということは、まだ3日分に達していない、大体2日分ぐらいが備蓄されているという認識を持ってよろしいのですか、水も含めて。

(「休憩お願いします」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。 (休憩時刻 午前10時53分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。 (再開時刻 午前10時54分)

島袋才明防災危機管理室長。

○ 島袋才明 防災危機管理室長 委員おっしゃるとおり、お米のほうもちょうとまだ3日分完全には充足率満たしていない状況ではございます。あと、水のほうもちょうとまだ足りない状況ではございます。今避難所の施設が、施設分に対しての充足率は足りているのですけれども、あともうちょっと避難所をどこに設けるか増やして、そこに入れる備蓄米等をもうちょっと増やす必要があるかなと考えております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 ということは、避難所、その場所場所においては問題ないが、避難所のないところ、避難所が近くにないところというのは、やっぱりそこは非常に困ることになるということですよね。そこはやっぱりないところ、ない地域というのが今こればつと見ては分かりませんが、浦西とかあの辺ですか、浦西とか、あるいは南側、内間辺りでしょうか。ちなみに、その地域って、充足できていない地域というのはありますか。はっきり具体的にありますか。

○ 仲里邦彦 委員長 島袋才明防災危機管理室長。

○ 島袋才明 防災危機管理室長 市内小中学校、高校、児童センターを今避難所と指定して、その面積で、体育館とかフロアで割って、おおむね収容できる人数ということでこちらカウントしているのですけれども、それでその施設に対しては充足、今現状でしているのですけれども、想定される大規模の、本当にマッ

クスで起きる大規模の災害に対して、収容できる人数分がちょっとまだ避難所として実際足りていない状況であるのが現状です。あと、どこがちょっと足りていないかは、すみません、ちょっとまだ検証が足りていない状況です。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 課題認識持っているようですので、ぜひそこはしっかり市民が安心できるような形をつくっていただきたいと思います。アルファ米、最近保育所で出ていました。先月でしたか、下旬でしたか、アルファ米が出ていましたけれども、これ公立で出ているのですか。民間では食べることはできないのでしょうか。そこら辺ちょっと。民間もメニューはアルファ米と出ているのです。ただ、民間の保育園も、法人保育園も食べれるのかなと思って。アルファ米食べてみましょうみたいな感じで書いてあるのです、カレンダー、献立表に。どうなっているのかなと思ひまして。

○ 仲里邦彦 委員長 島袋才明防災危機管理室長。

○ 島袋才明 防災危機管理室長 今年の実績なのですけれども、今年も民間のほうにも案内して、みのり幼稚園ですか、あちらは活用していただいたようでございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 管理栄養士が出して、市が出して各保育園、法人保育園に配るのです。メニュー表を配って、大体それを基にメニューをつくるのですけれども、アルファ米となっていて、メニューが。それが法人の保育園でも食べれているのかなというところが少し気になったのです。どうなのでしょう、そこが。分からないだったら分からないでいいです。保育課に聞いてもいいですし。

○ 仲里邦彦 委員長 島袋才明防災危機管理室長。

○ 島袋才明 防災危機管理室長 実際の詳しい状況は、こちらでちょっと把握し切れていない部分もありますけれども、こちらとしては民間のほうにも利活用していただきたいということでアナウンスはかけている状況でございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 伊礼研一委員。

○ 伊礼研一 委員 最後に備蓄の有無あるいは確認、あるいは避難所で配るときのマニュアルというものがしっかり整備されているのか。避難所で実際にアルファ米、あるいは水を配るときのマニュアルというのが整備されているのかということと、もう時間ないので、これで答弁をもらいますけれども、あと1点、職員課に対してですけれども、これの調書の説明書、これで文字が全部潰れているところとかあるのです。歳出のところ、文字が読めないところとかというのが結構あるのです、何か所か。それは、こういうのはやっぱり我々もこれ見ても字が読めないとなると非常に困りますので、そこはちょっと注意していただきたいというふうに思います。先ほどの答弁だけもらって終わります。

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。

(休憩時刻 午前10時59分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。

(再開時刻 午前10時59分)

島袋才明防災危機管理室長。

○ 島袋才明 防災危機管理室長 お答えします。マニュアルとしては実際あるのですけれども、ちょっとやっぱり現実的に大規模災害はまだ経験していないことでもありまして、そういう意味での訓練、具体的に委員がおっしゃる誰が、係とか、そういう分担はマニュアルとしてはあるのですけれども、実際にどうやっ

て運営していくかとなると、実際訓練が必要になってくるかなというふうに考えております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑はございませんか。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、次に歳出の2款2項1目についての説明を求めます。我部政仁総務課長。

○ 我部政仁 総務課長 決算書164ページを御覧ください。備考欄1固定資産評価審査委員会事業は、総務課所管でございます。対前年度比22万9,500円、率にして96.4%の減となっております。減の要因としましては、固定資産評価審査委員会への審査申出がなく、委員会開催がなかったためでございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 2項1目に対する質疑を許します。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、次に1款から10款の人件費関連についての説明を求めます。金城智昭職員課長。

○ 金城智昭 職員課長 それでは、事前に配付させていただいております資料に基づきまして、令和元年度一般会計職員給与費及び特別給与費につきまして御説明申し上げます。令和元年度の給与費は、総額52億5,162万2,763円の支出となっております。平成30年度の決算額と比較いたしまして7,915万1,707円の増額、率にいたしますと1.53%の増となっております。内訳といたしましては、一般職の給料が前年度と比較いたしまして3,145万6,704円の増額、率にしまして1.34%の増額となっております。手当等は、前年度と比較いたしまして4,254万1,882円の増額、率にいたしまして2.17%増加しております。また、共済費は前年度と比較いたしまして515万3,122円の増額、率にいたしまして0.2%増額しております。給与費全体の増額は、給与改定による支出増及び人事異動等による一般会計配置職員の平均給料の増、定年退職者等の増による沖縄県市町村総合事務組合特別負担金の支出増、給与改定による期末手当基礎額の増及び諸手当の支給対象者の増、標準報酬月額及び標準報酬賞与額の増が主な要因となっております。令和元年度一般会計職員給与費及び特別職給与費予算現額53億8,792万8,000円に対する支出済額は52億5,162万2,763円で、執行率は97.47%となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 1款から10款の人件費関連についての質疑を許します。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、それでは総務部所管に対する総括的質疑を許します。稲嶺伸作委員。

○ 稲嶺伸作 委員 防災と、あとまた災害時の対応について、ちょっと2点ぐらい質疑させていただきたいのですが、災害時の女性の視点で例えば避難所の中でプライバシーとか、結構災害のときにいろいろ問題があったということで、その対応を全国ではなさっていると思うのです。その観点で考えたときに、先ほどの液体ミルクとか、そういう子供たちのものも改善どんどんされていらっしゃるのですが、万が一また本市が災害に当たったときに、女性の立場でそういうプライバシーを確保するような、テントなりなんなり、間仕切りなりというところはどのようになっているのかを伺いたい。まず、現状を伺いたいと思います。

○ 仲里邦彦 委員長 島袋才明防災危機管理室長。

○ 島袋才明 防災危機管理室長 お答えします。委員おっしゃるとおり、全国的にもこういう女性を守る、常にプライバシー等を配慮した避難所運営が大事ということで国等から通知等いろんな情報が実際入ってきている現状でございます。本市の今の現状としましては、大規模災害等は当然まだ迎えていないのですけれども、直近でいいましたら台風とか大雨の避難所運営の際には、今回コロナの関係もありましたけれども、避難用テントを用いまして、両サイド壁がありまして、上は安否確認のために開いているつくりであるのですけれども、そういう意味で避難者のプライバシーに配慮したつくりのテントになっておりますので、避難している方々には大変好評を得ている現状でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 稲嶺伸作委員。

○ 稲嶺伸作 委員 確かに地元紙で私も浦添市の避難所の写真を見て、こういうちゃんと取組、対策がなされているのだなと思って、その点では大変安心したのです。また、これが本当に大規模災害を迎えることも想定して、また備品のというか、テントの確保とか、あとまた女性がやっぱり犯罪というかな、そういうものに巻き込まれない、襲われないような、女性の視点での対応というものを全国の模範のモデルを踏まえて、また一つ一つ着々と進めていただきたいと思います。もう一つなのですけれども、今度防災士なのです。地域のリーダーというか、そういうところで動いていただける意識のある方々の育成も行政で何か支援があったらいいなと思っているのですけれども、防災士を育成するための何か取組とかは今現状いかがですか。

○ 仲里邦彦 委員長 島袋才明防災危機管理室長。

○ 島袋才明 防災危機管理室長 今現状では確かに委員おっしゃるとおり、防災士を中心に、市内では自主防災組織がちょっと7つしか今結成できていない状況でもありますし、市が率先して防災士を育成する取組をすることで自主防災組織を増やしていくことにもつながるかと思いますので、次年度以降、防災士育成のための取組も考えていかないといけないかなと考えております。あと、うちではちょっとまだ取り組めていないのですけれども、那覇市とかの近隣の豊見城市、糸満市とかは、県外の防災士の講師をしてくれるセンターがあるので、あちらと委託契約を結んでそういう講座等の開催をやっているのです。それもちょうと今回調べまして、次年度に向けてちょっと調整ができればいいかなと考えております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 稲嶺伸作委員。

○ 稲嶺伸作 委員 確かにこれもまた地元紙で豊見城の記事とかも拝見して、その講師を招いたところも読んだのですけれども、ぜひそういう啓蒙の部分から、あとまた私もそうなののですけれども、結構全国の議員の仲間の方も何人か取ってチャレンジされているのもあるので、ですのでそういうところも踏まえて、自分自身もなののですけれども、そこにまた市民にも一部資格を取得するときの何か支援というものも自治体等では、県外であるので、そこもまた併せて要望したいなと思いますので、よろしくお願いします。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑ありませんか。

○ 仲里邦彦 委員長 10分程度休憩いたします。

(休憩時刻 午前11時08分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。

(再開時刻 午前11時22分)

ほかに質疑はありませんか。西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 幾つかお伺いしますが、1点目は職員の定数について、浦添市今後どのようにしてい

こうしているのかお聞きいたします。

○ 仲里邦彦 委員長 仲里 哲行政改革推進室長。

○ 仲里 哲 行政改革推進室長 定数についてでございますが、今年度までは定員適正化計画の下でやっておりました。次年度において、また再度計画を立てる予定ではございましたが、今回コロナの件ですとか財政状況が大変厳しいということで、次年度までは定員の管理方針ということで、現状の定数811ということで考えております。それ以降、また次年度、この状況を確認をしまして、定数を増に持っていくのかというところもまた検討していきたいと考えております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 この間、この定員については、適正化計画の下にやってきたという経緯があると思いますけれども、今後についてはぜひ、ちなみにほかの自治体との関係で、市民1人当たりの職員数とかというのは浦添市は多い少ないというのはあるのですか。

○ 仲里邦彦 委員長 仲里 哲行政改革推進室長。

○ 仲里 哲 行政改革推進室長 本市のほうでの類似団体ということで、県内では沖縄市とうるま市とございます。うるま市のほうが人口1万人当たりの普通会計なのですが、62.19人で、類似団体22団体中7位。沖縄市のほうが1万人当たり62.72人ということで類似団体中8位となっています。浦添市のほうが61.56人ということで5位ということで、この順位というのは少ない順位でなっております。ですので、今現在類似団体の中では、県内ではちょっと低い値にはなっております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 少ないほうということなので、ぜひその辺も検討して、浦添市どうあるべきかというのをやっていただきたいと思います。この間もやってきたのですけれども、各課各部のほうからのやっぱり増員要望というものもあると思いますので、しっかりと必要なところに必要な人員を充てていくということをやっていく必要があるのではないかなと思っていますので、やっていただきたいと思います。これは、増員も含めて検討はしていきますよということによろしいですか、改めて。

○ 仲里邦彦 委員長 仲里 哲行政改革推進室長。

○ 仲里 哲 行政改革推進室長 今後におきましては、浦添市の人口も増えていく傾向は続くというところもございますし、あと一方でデジタル化、ICT技術の導入とかもございます。ですので、双方見ながら検討を続けていきたいというようなところで考えております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 ぜひ必要なところに、この間見ていると、やはり職員の皆さんが大変な中で仕事していると。これは、浦添市に限らず県庁でも、あるいは公務員一般に言えることだと思いますけれども、学校の先生も含めて、この間人が減らされてきた、あるいはなかなか増えてこなかったことによって、働く皆さんの状況、健康状態を害したり、メンタルを病んだりということも顕在化してきていますので、その辺りはやはり真剣に考えて、必要な人員を配置するということをやっていただきたいと思います。私は切に思っていますので、よろしくお願いします。あと1点ですけれども、会計年度任用職員についてですが、充足率が会計年度任用職員以前と実施した後とでどのような状況なのかをお聞きいたします。

○ 仲里邦彦 委員長 金城智昭職員課長。

○ 金城智昭 職員課長 令和2年度から創設されました会計年度任用職員の状況でございますけれども、9月末現在で必要人数が552人、採用人数のほうが518人、不足人数が34人となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 その前はちなみにどうですか。臨時職員、嘱託職員の募集しているものに対して欠員がどれだけいたのかというのは。

(「休憩お願いします」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。(休憩時刻 午前11時28分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。(再開時刻 午前11時28分)

西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 分かりました。今の現状で、いずれにしても34人欠員状況があるということの説明です。これについて浦添市としてどのように考えているのかお聞きいたします。

○ 仲里邦彦 委員長 金城智昭職員課長。

○ 金城智昭 職員課長 ただいま不足している職種につきましては、保育職とか幼稚園教諭とか有資格者、資格を有する職種についてが特に不足しております。この辺現場のほうがいっしょに運営できるように、人材確保に今後も努めてまいりたいと思っております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 具体的にこれまでも保育士だとか幼稚園の先生を確保したくても、なかなか来てもらえなくて、学校現場のほうで幼稚園現場、保育の現場でかなりの支障を来している。それがひいては子供たちの保育や教育に与える影響というものはマイナスなものがあると。それは、子供たちの成長止まりませんから、一日一日そういう環境が続いていくということについて、やはり一日も早く改善される必要がある、浦添市にとっての大きな課題。ただ、これは全国的にも、あるいは県内でも学校の先生が足りないとか最近報道があつて、そういう状況があるということでは、大きな課題にもなっているのだらうと思っておりますけれども、少なくとも浦添市としてはやはり特別な手だてを打って、これを解消しないといけないと思っておりますけれども、この具体的な手だて、今確保に努めますよという答弁はあるのですけれども、具体的な手だてを今の時点であるかお聞きいたします。

○ 仲里邦彦 委員長 新垣 剛総務部長。

○ 新垣 剛 総務部長 私どもも会計年度任用職員の採用に当たってはホームページ、あとまたSNS等を使っていろんな形で募集をかけております。しかしながら、100%今集まらない状態。そういった中でどういったことを今からやるかということで、各課に関しましては、特に専門職に関してはOBの方、あるいは一緒の学校のまた卒業者、そういった方で今働いていない方に声をかけていただけませんか。そういった中でしか技術者というのはなかなかいないものですから、一般、普通職でございましたらそれなりに数いらっしゃったのですけれども、今言うように専門職に関しては身近なほうから声をかけていく、今最低限うちらができるというのはそういったことかなと思っております。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 今部長から声かけを人間的なつながりでやっていくよということの取組の説明だと思

うのですけれども、それで確保できればいいと思うのですけれども、この間それをやってなかなか確保できないという状況が現状なのかなというふうに私は認識があって、抜本的にどういう対策があるのかなというところをぜひ考えていただきたいという問題提起です。今日の新聞あるのですけれども、最高裁が非正規の手当、休暇認めるというところで、具体的に同一労働同一賃金という面から扶養手当あるいは病気休暇、5つの項目にわたってこういうものを具体的に正規の皆さんにも付与しているのであれば、非正規にも当然付与すべきだよというのを司法の場が判断したということについて、それは働く皆さんというのはどこでも一緒ですから、浦添市でもそれが必要になってくるという部分があると思います。これについてはどのようにお考えでしょうか。

○ 仲里邦彦 委員長 金城智昭職員課長。

○ 金城智昭 職員課長 今年度から始まりましたこの会計年度任用職員の待遇についてなのですけれども、現在この制度自体の課題の把握に努めているところでございます。この対応に関しては、職員団体とも今後十分に協議しながら改善に努めてまいりたいと思います。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑ありませんか。仲間 烈委員。

○ 仲間 烈 委員 すみません、1点だけ。災害の件でちょっと質疑なのですけれども、実際災害が起きた場合に聞こえない人とか見えない人のための対策とかどう考えているかお聞きします。

○ 仲里邦彦 委員長 島袋才明防災危機管理室長。

○ 島袋才明 防災危機管理室長 以前委員からもあった聞こえない方々の、大分でしたか、マニュアル等を取り寄せて拝見しまして、ちょっとまだ進んではいけないのですけれども、あちらの大分のほうにもちょっと確認しまして、このマニュアルを利活用して、うちでも同じような感じでつくれないかということでもちょっとあちらにもアプローチして、浦添のほうにも導入する必要があるかなということで考えております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 仲間 烈委員。

○ 仲間 烈 委員 やっぱ見えない人とか聞こえない人って情報が少ないと思うので、こういったマニュアルがあったりとか、バンダナ、私は聞こえませんか見えませんというバンダナがあるのですけれども、あと通訳ができますとか、そういったのがあれば、実際手話ができなくても、この人は聞こえないのだとか、目で見て分かるようにしたら、実際炊き出しがあったときに炊き出しありますよというジェスチャーとかもできるのかなと思うのですけれども、そういったバンダナとかの活用とかも検討いかがでしょうか。

○ 仲里邦彦 委員長 島袋才明防災危機管理室長。

○ 島袋才明 防災危機管理室長 具体的にどういった取組ができるかというのはちょっとまだ不十分なところがあるかと思うので、今委員に提案いただいたところも踏まえていろんな角度で検討して、できるものはどんどん導入していきたいと考えております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 仲間 烈委員。

○ 仲間 烈 委員 いざ実際災害が起きたら困らないように、ぜひよろしくお願いします。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑はございませんか。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、以上で総務部に対する審査を終了いたします。総務部の

皆さん、御苦労さまでした。

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。

(休憩時刻 午前11時35分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。

(再開時刻 午後 1 時17分)

財務部所管に係る一般会計決算審査を行います。

早速所管部長の総体的説明を求めます。石原正常財務部長。

○ 石原正常 財務部長 こんにちは。それでは、財務部所管の令和元年度一般会計歳入歳出決算につきまして御説明申し上げます。初めに、歳入につきまして御説明申し上げます。財務部所管の歳入は307億3,384万2,979円で、対前年度比11億9,526万8,687円、率にしまして3.7%の減となっております。また、財務部所管歳入決算の一般会計に占める構成比率は60.8%となっております。歳入増の主なものとしましては、1 款市税が対前年度比 2 億6,227万221円の増となっており、法人市民税が 1 億1,062万3,885円の減となったものの、個人市民税及び固定資産税がそれぞれ 1 億9,455万5,981円、1 億1,988万9,011円の増となったことが大きく影響しております。また、15款基金繰入金が対前年度比 9 億4,185万4,000円の増となっており、都市モノレール事業基金繰入金が 7 億344万4,000円の減となったものの、財政調整基金繰入金が18億円の皆増となったことによるものでございます。歳入減の主なものとしましては、18款市債が対前年度比12億8,998万1,000円の減となっており、起債事業の減によるものとなっております。また、7 款地方交付税及び地方特例交付金が対前年度比12億7,214万円の減となっており、地方交付税の減によるものとなっております。次に、歳出につきまして御説明申し上げます。財務部所管の歳出は58億3,824万1,756円で、対前年度比16億9,543万241円、率にしまして22.5%の減となっております。また、財務部所管歳出決算の一般会計に占める構成比は11.8%となっております。歳出増の主なものとしましては、市たばこ税県交付金が対前年度比 5 億4,027万円の皆増となっております。歳出減の主なものとしましては、目的基金積立事業が対前年度比19億4,819万円の減、財政調整基金積立事業が対前年度比 2 億4,200万円の減、市債利子償還事業が対前年度比3,500万3,094円の減となっております。以上、財務部所管の令和元年度一般会計歳入歳出決算を総体的に御説明いたしましたが、詳細につきましては課長等をもって御説明させていただきたいと思います。委員の皆様には慎重なる御審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○ 仲里邦彦 委員長 次に、歳入 1 款 1 項、2 項の説明を求めます。宮城篤直市民税課長。

○ 宮城篤直 市民税課長 それでは、1 款 1 項の説明をいたします。決算書の17ページと18ページを御覧ください。市税は、現年課税分と滞納繰越分がございします。現年課税分は市民税課の所管、滞納繰越分は納税課の所管となっておりますが、例年どおりまとめて御説明いたします。なお、調定額、収入済額、不納欠損額及び収入未済額につきましては、記載のとおりでございしますので、省略させていただき、対前年度比較のみを申し上げますので、御了承をお願いいたします。まず、1 款 1 項 1 目市民税の個人、1 節現年課税分につきまして、調定額は対前年度比で 1 億9,301万8,090円、率にして3.9%の増でございします。収入済額は、対前年度比で 1 億9,237万6,638円、率にして3.9%の増、不納欠損額は対前年度比で12万2,047円、率にして96.2%の減、収入未済額は対前年度比で130万4,478円、率にして2.2%の増でございします。調定額及び収入済額が増となった主な理由につきましては、課税対象年である平成30年も県内においては景気の拡大を背景に雇用情勢は完全失業率、有効求人倍率ともに好調に推移していると発表されており、本市においても個人市民税納税義務者数が 5 万3,543人、対前年度比で1,354人、率にして2.6%の増となっております。この納税義

務者数の増加が調定額を伸ばし、結果収入済額も増額させたと考えております。続きまして、2節滞納繰越分につきまして、調定額は対前年度比で1,262万2,039円、率にして7.8%の減、収入済額は対前年度比で217万9,343円、率にして3.9%の増、不納欠損額は対前年度比で753万5,032円、率にして45.2%の減、収入未済額は対前年度比で726万3,031円、率にして8.2%の減でございます。また、個人市民税の徴収率につきましては、現年課税分が98.8%、滞納繰越分が39%、合計しました徴収率は97.2%となっており、前年度と比較しまして0.4ポイントの増でございます。次に、2目市民税の法人、1節現年課税分につきまして、調定額は対前年度比で1億1,304万3,000円、率にして8.1%の減、収入済額は対前年度比で1億1,177万2,051円、率にして8%の減、不納欠損額はございません。収入未済額は、対前年度比で127万949円、率にして40.9%の減となっております。調定額及び収入済額が減となった理由の一つに電気業、卸売業、製造業の業種で法人税割額の大幅な調定減が影響しております。続きまして、2節滞納繰越分につきまして、調定額は対前年度比で53万2,710円、率にして7.2%の増、収入済額は対前年度比で114万8,166円、率にして82.4%の増、不納欠損額は対前年度比で79万1,593円、率にして67.3%の減、収入未済額は対前年度比で17万6,137円、率にして3.6%の増となっております。また、法人市民税の徴収率につきましては、現年課税分で99.9%、滞納繰越分が31.9%、合計しました徴収率は99.4%となっており、前年度と同率となっております。個人市民税と法人市民税は以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 仲地政直資産税課長。

○ 仲地政直 資産税課長 続きまして、固定資産税について御説明申し上げます。決算書は同じく17ページ、18ページでございます。固定資産税は、資産税課所管の現年課税分と納税課所管の滞納繰越分がございしますが、例年どおりまとめて御説明申し上げます。なお、各項目の決算額は記載のとおりでございますので、ここでは省略させていただき、対前年度比のみを申し上げますので、御了承のほどよろしくお願いいたします。では、1款2項1目固定資産税、1節の現年課税分につきまして御説明いたします。初めに、調定額ですが、対前年度比で1億2,597万9,992円の増、率にいたしまして1.8%の増となっております。収入済額は、対前年度比で1億2,459万7,965円の増、率にいたしまして1.8%の増となっております。収入未済額は、対前年度比で150万2,527円の増、率にいたしまして2.3%の増となっております。調定額が増となった主な理由につきましては、新築家屋の増によるものと考えております。次に、2節の滞納繰越分についてでございます。調定額は、対前年度比で2,377万5,355円の減、率にいたしまして14.1%の減となっております。収入済額は、対前年度比で470万8,954円の減、率にいたしまして5.9%の減となっております。不納欠損額は、対前年度比で261万7,661円の減、率にいたしまして41.0%の減となっております。収入未済額は、対前年度比で1,644万8,740円の減、率にいたしまして19.9%の減となっております。また、固定資産税の徴収率につきましては、現年課税分は99.07%で、対前年度と同率となっており、滞納繰越分は51.82%で、対前年度比4.50ポイントの増となっております。現年課税分と滞納繰越分を合計した固定資産税全体での徴収率は98.11%で、対前年度比0.28ポイントの増となっております。続きまして、1款2項2目の国有資産等所在市町村交付金につきまして御説明いたします。調定額及び収入済額は、対前年度比で108万5,700円の増、率にいたしまして1.4%の増となっております。徴収率は100%でございます。増額となった主な理由は、新規家屋及び貸付家屋の増によるものでございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 歳入1款1項、2項に対する質疑を許します。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようでございますので、次に3項、4項、6項に対する説明を求めます。
宮城篤直市民税課長。

○ 宮城篤直 市民税課長 それでは、決算書の17ページと18ページを御覧ください。3項1目軽自動車税、1節現年課税分につきまして、調定額は対前年度比で1,320万2,000円、率にして3.5%の増、収入済額は対前年度比で1,313万5,412円、率にして3.5%の増、不納欠損額は対前年度比で1万6,900円、皆増であります。収入未済額は、対前年度比で2万2,970円、率にして0.3%の増となっております。調定額及び収入済額が増となった主な理由につきましては、軽自動車税登録台数の中で平成28年度から施行されました新税率及び重課税が適用される車両が増加したことによるものでございます。続きまして、2節滞納繰越分につきまして、調定額は対前年度比で29万6,109円、率にして1.8%の増、収入済額は対前年度比で5万6,215円、率にして1%の増、不納欠損額は対前年度比で7万4,201円、率にして6.3%の増、収入未済額は対前年度比で17万2,893円、率にして1.8%の増となっております。また、軽自動車税の徴収率は現年度課税分で98.1%、滞納繰越分で34.2%、合計しました徴収率は95.5%となっており、前年度と比較しまして0.1ポイントの増となっております。次に、2目軽自動車税の環境性能割、1節現年課税分につきまして、調定額及び収入済額はともに377万3,500円となっております。環境性能割につきましては、令和元年10月1日からの適用となっておりますので、皆増でございます。不納欠損額と収入未済額はございません。続きまして、4項1目市たばこ税の1節現年課税分につきまして、調定額及び収入済額は対前年度比で4,006万1,687円、率にして1.8%の増でございます。不納欠損額と収入未済額はございません。調定額及び収入済額が増となった理由につきましては、令和元年10月1日より旧3級品の紙巻きタバコなどの税率が引き上げられたことが要因の一つだと考えております。続きまして、6項1目入湯税の1節現年課税分につきまして、調定額及び収入済額は対前年度比で33万6,600円、率にして4%の増となっております。不納欠損額及び収入未済額はございません。調定額及び収入済額が増となりました理由につきましては、市内鉱泉浴場施設を利用した入湯客数が前年度よりも増加したことによるものでございます。軽自動車税、市たばこ税、入湯税の説明は以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 歳入1款3項、4項、6項に対する質疑を許します。西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 今の説明のたばこ税のところですけども、改めてちょっと確認したいのが、これたしか県への出ていくものも、交付金でしたか、それもあると思うのですけれども、その説明を令和元年と、平成30年度もありました。平成29年度はなかったのですか。その辺りの説明と、額も。差引きで結局実際、事実上市に入ってきたものがこれだけというのがあると思うので、その説明をお願いします。

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。(休憩時刻 午後1時35分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。(再開時刻 午後1時36分)

宮城篤直市民税課長。

○ 宮城篤直 市民税課長 ただいまの御質疑にお答えいたします。たばこ税に関する市たばこ税県交付金についての御質疑だと思っておりますが、このほうは歳出のほうの13款の諸支出金で歳出することになっておりまして、額につきましては令和元年度に支払った県交付金5億4,027万円でございます。この県の交付金につきましては、令和元年度に支出しました。平成30年度、平成29年度、平成28年度は支出はございません。平成27年度、平成26年度、平成25年度、平成24年度、4か年は支出してございます。金額につきましては、

平成27年度につきましては1億7,702万2,000円、平成26年度2億7,051万4,000円、平成25年度は2億1,940万4,000円、平成24年度7,953万6,000円でございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 これは、今年度でたばこ税がこれだけ入ったら次年度で県に返す形ですか、それともその年度のものはその年度のものですか。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城篤直市民税課長。

○ 宮城篤直 市民税課長 それでは、市たばこ税県交付金につきまして御説明いたします。市たばこ税交付金につきましては、市たばこ税の前年度収入額が本市の課税定額を超えた場合に、次年度においてその超えた額を沖縄県に交付する制度でございます。具体的には、繰り返しになりますが、本市の平成30年度市たばこ税の収入額が22億273万5,568円となっており、本市の課税定額が16億6,246万5,000円ですので、それを上回った5億4,020万7,000円を令和元年度に県交付金として支出したものでございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 平成30年度22億円入ってきて、令和元年度で5億4,000万円県に交付すると。これが今後もずっとこういう形で続く見通しですか。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城篤直市民税課長。

○ 宮城篤直 市民税課長 この市たばこ税県交付金は、決算を終えて収入額確定させた後に課税定額と比較して、その上回った分を次の年の7月までに支払うということになっておりまして、今年度は、令和2年度は5億7,728万2,000円を支払っております。令和3年度もたばこ税の収入額がほぼ同じ、同程度入ってくる見込みですので、本年度同様の県交付金になるのかと想定しております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 今後これが続くようであれば、市の財政に与える影響というのは、交付税がかなり減っている影響というのはこれもあるんですか。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城篤直市民税課長。

○ 宮城篤直 市民税課長 所管は財政課でございますが、たばこ税の交付金につきましては、過去の年度の比較ということで、たばこ税の増えた分は交付税が減ると聞いておりますが、その辺はまたちょっと財政側のほうでお願いしたいと思います。

○ 仲里邦彦 委員長 大城博郎財政課長。

○ 大城博郎 財政課長 今の交付金なのですが、基本的には定額のものも振り込み、入っているので、これが来ることによって財政に対しての影響、交付税に対する影響というのはさほどないかな、需要額に組み込めるぐらいかなということで、大きな影響はないと考えております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑はございませんか。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、次に2款2項、3項、4項、5項に対する説明を求めます。大城博郎財政課長。

○ 大城博郎 財政課長 同じく決算書17ページの下段から20ページにかけてでございます。2款2項1目自動車重量譲与税は、財政課所管でございます。20ページの備考欄1自動車重量譲与税について御説明いた

します。収入済額 1 億2,922万7,000円、対前年度比219万2,000円、率にして1.7%の増でございます。増となった要因としましては、配分基準である市道の延長距離及び面積の増があったことが要因と考えられます。続きまして、決算書19ページ、20ページ、2 款 3 項 1 目地方揮発油譲与税、備考欄 1 地方揮発油譲与税について御説明いたします。収入済額4,487万2,017円、対前年度比669万6,983円、率にして13%の減でございます。減の主な要因として、地方揮発油税の減と税制改正によるものでございます。その下になります。2 款 4 項 1 目特別とん譲与税、備考欄 1 特別とん譲与税について御説明いたします。収入済額41万9,560円、対前年度比11万295円、率にして35.7%の増でございます。増となった要因としましては、譲与税額の増と那覇市との案分率の増が要因と考えられます。続きまして、その下になります。2 款 5 項 1 目森林環境譲与税、備考欄 1 森林環境譲与税について御説明いたします。収入済額436万2,000円、対前年度皆増でございます。令和 6 年度より森林環境税が個人住民税と合わせて年額1,000円課税となります。それに先立ち、令和元年度より森林環境譲与税が譲与されるものです。使途としては、間伐や人材育成の担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用でございます。令和元年度の森林環境譲与税は、森林環境整備促進推進基金に積立てとなっております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 歳入 2 款 2 項、3 項、4 項、5 項に対する質疑を許します。西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 2 款 4 項 1 目の特別とん譲与税について、説明の部分で前年度比で35%増えましたということと同時に、那覇との案分率が増えましたということも言いましたか。それについての説明をお願いします。

○ 仲里邦彦 委員長 大城博郎財政課長。

○ 大城博郎 財政課長 こちらのほうは、平成30年度の浦添ふ頭、那覇港、あと檢疫錨地のほうに入ってきた船の割合に応じて、翌年度その割合に応じた率で課税されると。その率は、その前の年で決まっているものですから、その率と今年度、令和元年度入ってきた税額が多ければ、多いのか少ないのか、増減するので、その割合が昨年度は大きかったということであります。以上です。

（「ごめんなさい、休憩お願いします」と言う者あり）

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。 (休憩時刻 午後 1 時46分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。 (再開時刻 午後 1 時46分)

西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 休憩の中の説明で分かりました。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑ございませんか。

（「進行」と言う者あり）

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、次に 3 款 1 項、2 項、3 項に対する説明を求めます。大城博郎財政課長。

○ 大城博郎 財政課長 決算書19ページ、20ページを御覧ください。3 款 1 項 1 目利子割交付金、備考欄 1 利子割交付金について御説明いたします。収入済額629万2,000円、対前年度比405万7,000円、率にして39.2%の減であります。減の要因としましては、預金残高の増がありますが、金利の低下によるものが交付金の減につながったものと考えております。続きまして、3 款 2 項 1 目配当割交付金、備考欄 1 配当割交付金について御説明いたします。収入済額2,222万円、対前年度比507万5,000円、率にして29.6%の増でありま

す。増の要因としましては、日経平均株価が昨年度よりも上向きであったことなどによる株価の上向き傾向の下で株主への配当が増となったものと考えております。続きまして、３款３項１目株式等譲渡所得割交付金、備考欄１株式等譲渡所得割交付金について御説明いたします。収入済額1,557万3,000円、対前年度比79万3,000円、率にして5.4%の増でございます。こちらのほうも株価の増と取引の増が多くなったことによるものと考えております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 ３款１項、２項、３項に対する質疑を許します。

（「進行」と言う者あり）

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、次に４款１項１目に対する説明を求めます。大城博郎財政課長。

○ 大城博郎 財政課長 決算書21ページから22ページを御覧ください。４款１項１目地方消費税交付金、備考欄１地方消費税交付金について御説明いたします。収入済額20億3,895万円、対前年度比8,215万円、率にして3.9%の減でございます。内訳としまして、消費税８%のうちの1.7%分が地方消費税となっております。このうち従来からの地方消費税率１%分に基づく交付金として、備考欄の（１）の地方消費税交付金が収入済額12億4,374万4,000円、対前年度比5,013万2,000円、率にして同じく3.9%の減となっております。また、（２）社会保障財源交付金は、地方消費税率0.7%に基づくものでありますが、税率改正により0.7%から1.2%になっております。収入済額７億9,520万6,000円、対前年度比3,201万8,000円、率にして3.9%の減となっております。減の主な要因としましては、景気悪化によるものと増税前の駆け込み需要があると思われますが、増税後は買い控えがあったことによるものではないかと思われます。また、税率改正後の収入は実際は３か月のみとなっております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 ４款１項１目に対する質疑を許します。

（「進行」と言う者あり）

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、次に５款１項１目、２項１目に対する説明を求めます。大城博郎財政課長。

○ 大城博郎 財政課長 決算書21ページ、22ページを御覧ください。５款１項１目自動車取得税交付金、備考欄１自動車取得税交付金について御説明いたします。収入済額2,936万7,216円、対前年度比2,255万7,784円、率にして43.4%の減でございます。減となった要因としましては、消費税率の改正に伴い10月より自動車取得税が廃止となったためでございます。続きまして、５款２項１目環境性能割交付金、備考欄１環境性能割交付金について御説明いたします。収入済額578万7,000円、皆増でございます。こちらのほうは、消費税率の改正に合わせ自動車取得税が廃止され、環境性能割が導入されたことによるものでございます。令和元年10月１日から令和２年９月30日までの間は税率１%分が軽減されており、減収分については地方特例交付金により全額国費で補填される予定となっております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 ５款１項、２項に対する質疑を許します。

（「進行」と言う者あり）

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、次に６款１項１目に対する説明を求めます。大城博郎財政課長。

○ 大城博郎 財政課長 同じく21ページ、22ページでございます。6款1項1目国有提供施設等所在市町村助成交付金について御説明いたします。収入済額4億8,231万7,000円、対前年度比1,000万円、率にして2.1%の増でございます。内訳としまして、1節助成交付金が収入済額1億8,434万7,000円、対前年度比1,000万円、率にして5.7%の増でございます。増の要因としては、総務省通知の資産価格の増によるものが一つと考えられております。2節調整交付金、収入済額2億9,797万円、前年度と同額でございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 6款1項1目に対する質疑を許します。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、次に7款1項、2項についての説明を求めます。大城博郎財政課長。

○ 大城博郎 財政課長 同じく21ページ、22ページを御覧ください。7款1項1目地方交付税について御説明いたします。収入済額34億2,280万3,000円、対前年度比14億7,271万3,000円、率にして30.1%の減でございます。内訳につきましては、22ページの備考欄1普通交付税、収入済額28億9,585万2,000円、対前年度比14億7,728万4,000円、率にして33.8%の減でございます。備考欄2特別交付税、収入済額5億2,695万1,000円、対前年度比457万1,000円、率にして0.9%の増でございます。普通交付税が減となった要因につきましては、交付税自体が基準財政需要額から基準財政収入額を差し引いた財源不足額が普通交付税となります。基準財政需要額の社会福祉費等の伸びにより11億円の増がございましたが、基準財政収入額が対前年度比で26億円の増となっており、主な要因でございます。内訳としましては、たばこ税が21.6億円程度伸びている、交付税算定上伸びているということが大きな要因となっております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 7款1項、2項に対する質疑を許します。西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 さっきたばこ税伸びたから、この交付税減になりましたという説明今あったと思うので、これがたばこ税がこのまま維持されてきた場合は、その分は交付税もこの額で、ほかの増減がなければですけども、考え方としてはなるのかな、いわゆる影響があるのかなって考えてもいいのかなと思ってはいるのですけれども、そういうわけではないですか。

(「ちょっと休憩いいですか」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。(休憩時刻 午後1時56分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。(再開時刻 午後1時58分)

大城博郎財政課長。

○ 大城博郎 財政課長 すみません。続きまして、7款2項1目地方特例交付金について御説明いたします。備考欄1減収補てん特例交付金、収入済額5,718万5,000円、対前年度比1,265万2,000円、率にして28.4%の増でございます。増の要因といたしましては、本交付金は個人住民税における住宅借入金等特別控除の実施に伴い、市町村の減収分を補填するため設けられたものでございますが、前年度と比較しまして控除適用者数が増となっているためでございます。その下になります。7款2項4目子ども・子育て支援臨時交付金について御説明いたします。備考欄1子ども・子育て支援臨時交付金、収入済額1億8,792万1,000円、皆増でございます。幼児教育の無償化については、消費税率10%への引上げによる増収分の使い道を見直すことにより必要な地方財源を確保するものでございますが、ただし令和元年度は消費税率引上げに伴う地方の増

収が僅かであることから、地方負担分を措置する子ども・子育て支援臨時交付金を創設し、全額国費により対応するものとされたものでございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 質疑はございませんか。西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 さっきの件ですけれども、普通交付税のほうが33%減っていますよ、14億円減っているという説明があつて、それとの関係で平成29年から平成30年度にかけてたばこ税は増えました。13億円ぐらい増えているのですか。ただ、地方交付税は、これ見たら14億円減っていますよね。たばこ税が増えたから、基準財政収入額のところにたばこ税も算定されてくるのですよという部分で、では収入が増えましたねというところでの交付税の減という理解でいいのですか。それだけではないのか、複合的にいろいろあるのか。

○ 仲里邦彦 委員長 大城博郎財政課長。

○ 大城博郎 財政課長 おおむねそのとおりではあるのですけれども、まず皆さんも御存じのとおりですけれども、たばこの卸売業者のほうが出て、また戻ってきたということがあると思うのですけれども、こちらのほうが以前市外に転出したのが平成27年12月ぐらい、また市内に戻ってきたのが平成29年12月ぐらいに戻ってきて、たばこ税の交付税の算定に使うものが例えば令和元年度であれば平成30年の売渡し本数、平成30年というともう既にいるときの本数で、それに伸び率というのがあつて、これは見るのが平成28年度と平成30年度、これを差し引いた伸び率で算定するものですから、まずその年にいないとき、たばこ税減ったときとマックスがあつて、非常に大きい開きが今出て、令和元年度につきましては、その開きが一番大きい年になって影響が過大に出ていると。令和2年度についてもその影響がまだ残っている。令和3年度以降についてはならされた状態。結局影響を引きずった状態の中で、非常に大きく影響が出た年だということの御理解でお願いしたいと思います。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 分かりました。ということは、令和3年度あたりからは少し影響は緩和されてくるという理解でいいのですか。

○ 仲里邦彦 委員長 大城博郎財政課長。

○ 大城博郎 財政課長 伸び率の部分でいくと、それは影響がほとんどなくなるということによろしいです。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 では、伸び率で換算されるところは少し緩和されるけれども、そもそもの別の算定の部分は維持されていく、若干交付税の減というのは続いていく、これまでもそうだったから、元どおりという考え方でいいのですか。

○ 仲里邦彦 委員長 大城博郎財政課長。

○ 大城博郎 財政課長 その年その年で影響があるかと思うのですけれども、今回この何年間かの、昨年でいくと財政調整基金を崩さないぐらい一般財源から入ってきたという年もあれば、令和元年度でいくと18億円下ろしていくような感じの、その増減の波は大分収まるいうところで、影響としては通常の国とかいろいろなものの需要とかに応じたようなものになるというふうに考えております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑はございませんか。

（「進行」と言う者あり）

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、次に10款2項2目に対する説明を求めます。喜舎場三弘 財産管理課長。

○ 喜舎場三弘 財産管理課長 10款使用料及び手数料の財産管理課所管分について御説明いたします。決算書の33ページ、34ページを御覧ください。10款2項2目総務手数料の備考欄1の（1）認可地縁団体諸証明手数料2,100円が財産管理課所管分となっております。法人格として認可を得た自治会の印鑑登録証明等7件の証明書発行手数料でございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城篤直市民税課長。

○ 宮城篤直 市民税課長 決算書の36ページを御覧ください。10款2項2目総務手数料の2節徴税手数料、備考欄の1諸証明手数料の（1）諸証明手数料963万9,800円が市民税課所管分でございます。内容につきましては、市民税課窓口及び証明書自動交付機での所得証明書等の交付に係る手数料でございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 國吉啓朗納税課長。

○ 國吉啓朗 納税課長 決算書同じく36ページでございます。10款2項2目総務手数料、2節の徴税手数料でございます。36ページの備考欄1諸証明手数料の中の（2）諸証明手数料（納税課）74万7,600円及び2市税督促手数料379万7,659円は、納税課所管でございます。諸証明手数料につきましては、前年度と比較して14万700円、15.8%の減、督促手数料につきましては16万3,220円、4.1%の減となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 10款2項2目についての質疑を許します。

（「進行」と言う者あり）

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、次に12款3項2目についての説明を求めます。喜舎場三弘 財産管理課長。

○ 喜舎場三弘 財産管理課長 12款県支出金の財産管理課所管分について御説明いたします。決算書の75ページ、76ページを御覧ください。12款3項2目1節総務管理費委託金の備考欄2の新たに生じた土地の告示に関する事務取扱交付金2,273円が財産管理課所管分となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 國吉啓朗納税課長。

○ 國吉啓朗 納税課長 決算書75ページから76ページでございます。12款3項2目総務費委託金、2節の徴税費委託金、備考欄の1個人県民税徴収取扱交付金1億6,476万9,176円は、納税課所管でございます。前年度と比較しまして364万8,261円、2.3%の増となっております。主な増の要因としましては、納税義務者の増加によるものでございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 12款3項2目に対する質疑を許します。

（「進行」と言う者あり）

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、次に13款1項、2項に対する説明を求めます。喜舎場三弘 財産管理課長。

○ 喜舎場三弘 財産管理課長 13款財産収入、1項、2項の財産管理課所管分について御説明いたします。決算書の79ページ、80ページを御覧ください。1項1目1節土地貸付収入、備考欄2の（1）の土地賃貸料でございますが、貸付件数が33件で収入済額が1,250万1,249円となっております。また、（2）の市有地

賃貸料（滞納繰越分）でございますが、居住用地として貸付けしております1人の滞納繰越分で、収入済額が17万6,336円となっております。収入未済額につきましては74万9,428円となっており、内訳としましては平成26年度から平成30年度までの滞納繰越分で、居住用の貸付け、個人1人の未納分となっております。また、時効により13万2,252円が不納欠損額となっております。次に、2目利子及び配当金でございます。備考欄1株式配当金のうち（1）が財産管理課所管分となっております。沖縄銀行、みずほフィナンシャルグループ、琉球銀行、3社の株式配当金で、収入済額が553万4,130円となっております。次のページを御覧ください。決算書の81ページ、82ページでございます。2項1目不動産売払収入の備考欄1の（1）市有地売払収入が財産管理課所管分でございます。里道、水路13件、原野1件、公衆用道路1件、雑種地3件、宅地2件、合計20件の市有地売却に伴う収入でございます。収入済額が4,374万5,609円、前年度と比較しますと3,554万5,741円の減となっております。主な要因としましては、平成30年度に字城間にございますガソリンスタンド敷地を売却した分が減となった主な要因でございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 大城博郎財政課長。

○ 大城博郎 財政課長 79ページから82ページにかけてでございます。13款1項2目利子及び配当金について御説明いたします。80ページ、備考欄2財政調整基金利子11万4,290円から82ページ、備考欄14特定駐留軍用地等内土地取得事業基金利子11万7,557円までが財政課所管となっております。備考欄2から14の各基金利子合計は37万4,285円、対前年度比92万5,142円、率にして71.2%の減でございます。内容としましては、各基金の定期預金による利子となります。減となった主な理由は、公共用地取得基金の土地開発公社への貸付分の利子が皆減となったことが大きくなったためでございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 13款に対する質疑を許します。西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 82ページの中段になります。備考1市有地売払収入についてですけれども、もう一度里道だとか何だとか、改めてお聞きします。

○ 仲里邦彦 委員長 喜舎場三弘財産管理課長。

○ 喜舎場三弘 財産管理課長 里道、水路13件、原野1件、公衆用道路1件、雑種地3件、宅地2件、合計20件の市有地となっております。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 里道、水路13件のいきさつというか、今浦添市のほうで里道、水路の確定作業やっているといるのですけれども、それについて市としての今後どうしていくというような方針があるのか、それともないのか。この里道については、たまたまと言ったらあれですけれども、それぞれ事情があつてそうなののか、それとも何かしらの方針があつてやっているのかお聞きいたします。

○ 仲里邦彦 委員長 喜舎場三弘財産管理課長。

○ 喜舎場三弘 財産管理課長 里道の所管部署のほうが用地課になってございますが、用地課のほうでまず対象者のほうからそういった、用地課のほうから用途廃止となりまして、用途廃止になった場合、また普通財産に戻りますので、普通財産になった場合、また財産管理課の所管部署になって、そこでまた対象者のほうと買い受け希望されているところと売買の契約を結ぶというような流れになってございます。

（「休憩お願いします」と言う者あり）

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。

（休憩時刻 午後2時14分）

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。 (再開時刻 午後 2 時14分)

喜舎場三弘財産管理課長。

○ 喜舎場三弘 財産管理課長 すみません、里道の所管部署のほうが用地課ではなくて道路課になってございます。申し訳ありませんでした。

(「休憩お願いします」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。 (休憩時刻 午後 2 時14分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。 (再開時刻 午後 2 時17分)

西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 休憩中に説明がありましたので、以上で終わります。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑ございませんか。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、次に14款 1 項 1 目に対しての説明を求めます。大城博郎財政課長。

○ 大城博郎 財政課長 83ページ、84ページを御覧ください。14款 1 項 1 目一般寄附金は、収入済額なし、費目存置でございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 14款 1 項 1 目に対する質疑を許します。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、休憩いたします。 (休憩時刻 午後 2 時18分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。 (再開時刻 午後 2 時30分)

15款 1 項に対する説明を求めます。大城博郎財政課長。

○ 大城博郎 財政課長 決算書83ページの下段から88ページにかけてを御覧ください。15款 1 項基金繰入金について御説明いたします。83ページ、84ページの 1 目財政調整基金繰入金18億円から、ページをめくりまして87ページ、88ページ、21目特定駐留軍用地等内土地取得事業基金繰入金24億8,955万3,000円までが財政課所管となっております。各基金繰入金合計は49億2,783万8,000円、対前年度 9 億4,185万4,000円、率にして23.6%の増でございます。増の要因としましては、都市モノレール事業基金、対前年度比 7 億344万4,000円の減や特定駐留軍用地等内土地取得事業基金繰入金、対前年度比 1 億5,069万9,000円の減等がございますが、財政調整基金繰入金が対前年度比18億円の皆増となっていることが主な要因でございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 15款 1 項に対する質疑を許します。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、次に16款 1 項 1 目に対する説明を求めます。大城博郎財政課長。

○ 大城博郎 財政課長 同じく16款 1 項 1 目繰越金について御説明いたします。収入済額は12億4,399万3,574円、対前年度比 2 億8,497万7,815円、率にして29.7%の増でございます。繰越金は平成30年度の歳入総額と歳出総額の差引額を令和元年度に収入として受け入れたものでございますが、内訳としまして備考欄 1 前年度繰越金が 8 億6,638万432円、対前年度比4,236万4,987円、率にして5.1%の増でございます。備考欄 2

の繰越事業の財源となる繰越明許事業費等充当財源繰越額が３億7,761万3,142円、対前年度比２億4,261万2,828円、率にして179.7%の増でございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 16款１項１目に対する質疑を許します。

（「進行」と言う者あり）

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、次に17款１項、４項についての説明を求めます。國吉啓朗納税課長。

○ 國吉啓朗 納税課長 決算書87ページから88ページでございます。17款１項１目１節延滞金の備考欄１市税延滞金2,392万841円は、納税課所管でございます。前年度と比較しまして49万5,475円、2.1%の増となっております。次に、決算書、少々飛びます。109ページから110ページでございます。17款４項５目１節滞納処分費の備考欄１滞納処分費26万1,800円は、納税課所管でございます。前年度と比較しまして25万4,700円の増となっております。こちらは、不動産の鑑定手数料やネット公売に係る手数料を滞納処分費を収入として受け入れるものでございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 喜舎場三弘財産管理課長。

○ 喜舎場三弘 財産管理課長 ページ戻りまして、決算書の89ページ、90ページを御覧ください。４項１目違約金及び延滞利息でございます。先ほど御説明申し上げました13款１項１目都市貸付収入の滞納に係る遅延利息でございます。17万100円が収入未済額となっており、10万1,700円が時効による不納欠損額となっております。ページをめくっていただいて91ページ、92ページ、３目２節総務費雑入の備考欄（５）送電線用地使用料8万9,526円が財産管理課所管分でございます。備考欄の（６）と、ページめくっていただいて94ページの（19）、（20）につきましては財産管理課と表記されておりますが、令和２年度より所管が財産管理課から総務部契約検査課へ移行しており、決算につきましても総務部にて説明してございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 大城博郎財政課長。

○ 大城博郎 財政課長 決算書93、94ページを御覧ください。17款４項３目２節総務費雑入のうち、備考欄１総務管理費雑入の（10）沖縄県市町村振興協会市町村配分金1,196万3,000円、対前年度比186万3,000円、率にして13.5%の減でございます。新市町村振興宝くじであるハロウィンジャンボ宝くじの発売額に係る配分金となっております。同じく（12）沖縄県市町村振興協会基金交付金558万5,000円、対前年度比29万6,000円、率にして5.6%の増でございます。こちらは、市町村振興宝くじであるサマージャンボ宝くじの発売額に係る交付金となっております。続きまして、（15）予算書頒価料4,650円、当初及び補正予算、決算書の販売収入となっております。対前年度比620円、率にして15.4%の増となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 宮城篤直市民税課長。

○ 宮城篤直 市民税課長 決算書の96ページを御覧ください。17款４項３目雑入の２節総務費雑入、備考欄の２徴税費雑入の（１）封筒広告掲載収入料7万3,150円、（２）再生利用物売払金9,900円、（３）たばこ税手持品課税に係る郵送料8,474円が市民税課所管分でございますが、その中で（２）再生利用物売払金の内容につきましては、原動機付自転車を廃車申告するときに返却されたナンバープレートを金属買取り事業者に搬入した際の売払金でございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 17款１項、４項に対する質疑を許します。西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 110ページの中段にある、先ほど説明があった滞納処分費について、平成30年度と比較して25万円増という説明でしたか。その説明、なぜ。

○ 仲里邦彦 委員長 國吉啓朗納税課長。

○ 國吉啓朗 納税課長 こちらの滞納処分費でございますが、前年度と比較しまして25万4,700円の増となっております。こちら令和元年度の歳入の内容でございますが、不動産の鑑定手数料2件分の滞納処分費の歳入ということでございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 すみません、休憩をお願いします。

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。 (休憩時刻 午後2時39分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。 (再開時刻 午後2時40分)

西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 休憩の説明で分かりました。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑ございませんか。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、次に18款についての説明を求めます。大城博郎財政課長。

○ 大城博郎 財政課長 決算書109ページから116ページにかけてでございます。18款1項の市債につきまして御説明いたします。収入済額合計は16億3,787万7,000円、対前年度比12億8,998万1,000円、率にして44.1%の減でございます。減となった主な理由といたしましては、2目総務債の特定駐留軍用地等内土地取得事業が3億4,410万円の減、14目臨時財政対策債が7億8,888万1,000円の減が大きく影響しております。個別の内容につきましては各所管事業によりますので、内容については省略させていただきます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 18款に対する質疑を許します。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、次に歳出のほうに移りたいと思います。2款1項の説明を求めます。大城博郎財政課長。

○ 大城博郎 財政課長 決算書の119ページ、120ページを御覧ください。2款1項1目一般管理費、備考欄2水道事業会計負担金事業は、財政課所管でございます。支出済額318万3,000円、対前年度比65万6,000円、率にして26%の増でございます。続きまして、決算書134ページ、備考欄23財政課事務費は、財政課所管でございます。支出済額215万9,249円、対前年度比19万7,561円、率にして8.4%の減でございます。ページめくりまして、決算書147ページから148ページを御覧ください。2款1項3目財政管理費につきましては、財政課所管分でございます。148ページの備考欄1財政課事務費、支出済額386万7,518円、対前年度比29万9,914円、率にして8.4%の増でございます。続きまして、備考欄2総合財務会計システム事業、支出済額991万1,292円、対前年度比58万1,388円、率にして6.2%の増でございます。決算書157ページから158ページを御覧ください。2款1項7目財政調整基金費につきましては、財政課所管分でございます。備考欄1財政調整基金積立事業、支出済額4億3,400万円、対前年度比2億4,200万円、率にして35.8%の減でございます。続きまして、2款1項8目目的基金費につきましては、財政課所管分でございます。備考欄1目的基金積立事業、支出済額15億

8,618万1,000円、対前年度比19億4,819万円、率にして55.1%の減でございます。減の要因としましては、特定駐留軍用地等内土地取得事業基金積立金、対前年度比16億7,475万3,000円の減、減債基金積立金、対前年度比1億9,999万円の減となっていることが主な要因でございます。続きまして、決算書157ページから160ページを御覧ください。2款1項9目土地開発基金費につきましては、財政課所管分でございます。備考欄1土地開発基金繰出事業につきましては、利息相当分の8,000円を繰り出して積立てをしております。対前年度比1万5,000円、65.2%の減でございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 喜舎場三弘財産管理課長。

○ 喜舎場三弘 財産管理課長 ページ戻りまして、143ページ、144ページを御覧ください。2款1項1目、備考欄44財産管理課事務費60万1,518円が財産管理課所管分でございます。時間外勤務手当53万6,562円、消耗品費6万4,956円となっております。決算書の149ページ、150ページを御覧ください。2款1項5目財産管理費は、財産管理課所管分でございます。備考欄1財産管理事業189万5,544円、前年と比べまして2,348万1,976円の減となっております。その主な要因としましては、平成30年度に実施しました旧経塚調理場解体工事施工に伴う委託料と工事請負費の減によるものでございます。また、公共施設個別施設計画策定事業の策定業務委託料3,210万円につきましては繰越し事業であるため、令和2年度へ繰越ししてございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 2款1項に対する質疑を許します。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、次に2款2項についての説明を求めます。宮城篤直市民税課長。

○ 宮城篤直 市民税課長 決算書の166ページを御覧ください。2款2項1目税務総務費の備考欄の中段辺りにあります3市民税課事務費286万5,378円、4市民税運営事業1,915万6,501円、続きまして決算書の168ページでございますが、2款2項2目賦課徴収費の備考欄の下段辺りにあります2市民税賦課事業2,114万1,279円、さらに決算書172ページでございますが、備考欄の中段辺りの6軽自動車税賦課事業1,025万2,462円が市民税課所管でございます。その中の軽自動車税賦課事業につきまして、対前年度比で129万7,176円、率にして14.5%の増となっております。その主な理由につきましては、市制施行50周年記念事業の一環としまして、原動機付自転車の記念ナンバープレート作成業務委託料を実施したことによるものでございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 仲地政直資産税課長。

○ 仲地政直 資産税課長 資産税課所管の2款2項1目税務総務費につきましては、決算書168ページの備考欄5資産税課事務費と備考欄6資産税運営事業でございます。資産税課事務費は、対前年度比で85万2,336円の増、率にいたしまして32.5%の増となっております。主な増の要因は、職員の時間外勤務手当の増によるものでございます。次に、資産税運営事業は、対前年度比で112万9,846円の減、率にいたしまして10.9%の減となっております。主な減の要因は、臨時職員を採用できなかったことによる賃金及び社会保険料の減によるものでございます。次に、2款2項2目賦課徴収費につきましては、決算書170ページの備考欄3資産税賦課事業でございます。資産税賦課事業は、対前年度比で1,322万5,074円の増、率にいたしまして95.1%の増となっております。主な増の要因は、(3)その他委託料のうち、標準宅地鑑定評価委託料及び固定資

産土地評価替え業務委託料の増によるものでございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 國吉啓朗納税課長。

○ 國吉啓朗 納税課長 決算書の167ページから168ページでございます。2款2項1目税務総務費、備考欄の7納税課事務費474万5,255円、次に2款2項2目賦課徴収費、備考欄の1納税環境拡充事業765万7,737円、ページは次のページになります。170ページの備考欄4納税課事務費17万8,268円、5市税徴収運営事業9,746万8,963円は、納税課所管でございます。前年度と比較しまして増減が大きな事業といたしましては、まず2款2項1目の納税課事務費、これは納税課職員の時間外勤務手当でございます。前年度と比較しまして181万6,211円、27.7%の減となっております。減の要因といたしましては、年度途中で人事異動があり、欠員となったこと及び私傷病休職者が発生したというところでございます。また、催告書の発送前に納付状況を1件ずつ確認するという業務の内容を見直いたしました。そのことで大幅な減となっております。次に、2款2項2目の市税徴収運営事業、これは徴収業務に係る運営費を支出する事業でございます。前年度と比較しまして178万1,388円、1.9%の増となっております。その内訳でございますが、地方税共通納税システムの稼働に伴うシステム開発委託料が252万2,664円の増、滞納管理システムの更新によりサーバーの賃借料が含まれることになったため、賃借料が425万8,990円の増、市税過誤納還付金及び加算金が471万7,237円の減となっております。なお、還付金の減につきましては、件数の減によるものでございます。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 2款2項1目、2目に対する質疑を許します。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようでございますので、次に11款1項1目に対する説明を求めます。大城博郎財政課長。

○ 大城博郎 財政課長 決算書385ページ、386ページを御覧ください。11款災害復旧費は、財政課所管でございます。11款1項1目農地災害復旧費につきましては、支出済額なし、費目存置でございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 11款1項1目に対する質疑を許します。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようでございますので、2項1目に対する説明を求めます。大城博郎財政課長。

○ 大城博郎 財政課長 続きまして、11款2項1目公共土木施設災害復旧費につきましては、支出済額なし、費目存置でございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 2項1目に対する質疑を許します。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、次に3項1目に対する説明求めます。大城博郎財政課長。

○ 大城博郎 財政課長 11款3項1目公立学校施設災害復旧費につきましては、こちらも支出済額なし、費目存置でございます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 3項1目に対する質疑を許します。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、次に12款1項1目、2目に対する説明を求めます。大城博郎財政課長。

○ 大城博郎 財政課長 ページをめくりまして、決算書387ページ、388ページを御覧ください。12款1項の公債費は、財政課所管分でございます。1目元金、備考欄1市債元金償還事業でございますが、支出済額25億5,908万797円のうち、25億4,930万4,133円が財政課所管分でございます。対前年度比1,826万8,835円、率にして0.7%の減でございます。減の要因としては、平成30年度に償還終了した額よりも令和元年度から新規に元金償還が始まる額が小さいことが考えられます。同じく2目利子、備考欄1市債利子償還事業、支出済額2億3,513万4,312円、対前年度比3,500万3,094円、率にして13%の減でございます。減の要因としては、年々借入れ利率が低くなっていることもあることから、新規に支払いが開始した利子の額と比較し、利子の自然減少の額が上回っていることが考えられます。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 12款1項1目、2目に対する質疑を許します。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、次に13款1項1目に対する説明を求めます。大城博郎財政課長。

○ 大城博郎 財政課長 同じページになります。13款1項1目有価証券取得費につきましては、財政課所管分でございます。支出済額なし、費目存置となっております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 13款1項1目に対する質疑を許します。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、次に2項1目についての説明を求めます。宮城篤直市民税課長。

○ 宮城篤直 市民税課長 決算書の387ページと388ページを御覧ください。13款2項1目市たばこ税県交付金、19節負担金、補助及び交付金の備考欄1市たばこ税県交付金事業5億4,027万円が市民税課所管でございます。市たばこ税県交付金につきましては、市たばこ税の前年度収入額が本市の課税定額を超えた場合に、次年度においてその超えた額を沖縄県に交付する制度でございます。具体的には本市の平成30年度の市たばこ税の収入額が22億273万5,568円となっており、本市の課税定額が16億6,246万5,000円でありましたので、それを上回った5億4,027万円を令和元年度に県交付金として支出したものでございます。説明は以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 2項1目に対する質疑を許します。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、続きまして14款1項1目に対する説明を求めます。大城博郎財政課長。

○ 大城博郎 財政課長 同じページになります。14款1項1目予備費につきましては、財政課所管でございます。1億471万1,271円の予備費を充用し、不用額3,297万3,729円となっております。以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 14款1項1目に対する質疑を許します。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、それでは財務部に対する総括的質疑を許します。西銘 健 委員。

○ 西銘 健 委員 今回コロナが猛威を振るって、これまでにないような生活を強いられるということがまだ続いているという状況にあります、コロナが浦添市の財政に及ぼす影響というものをどのように考えているのか。新年度予算に及ぼす影響、これについてお聞きいたします。

○ 仲里邦彦 委員長 大城博郎財政課長。

○ 大城博郎 財政課長 コロナの影響としまして、現状のところ、具体的に幾らというような数字自体はないのですが、よくあるのが歳入がやっぱり見込みがちょっと厳しくなるのかなと。よく比べられるのがリーマンショックのときと比べられるのですけれども、そのときが大体3か年ぐらい減収が続いているような形があったようでございます。恐らくコロナは、それ以上になる可能性があるのかなと。ただ、それについても具体的なまだ見込みというのがちょっと立っていない状況でありますので、どれくらいの影響というのは正直今はかりかねているというところでございます。影響ということであれば以上でございます。

○ 仲里邦彦 委員長 仲地政直資産税課長。

○ 仲地政直 資産税課長 新型コロナウイルス感染症緊急経済対策における税制上の面から御説明申し上げます。令和3年度の固定資産税におきまして、今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための措置に起因いたしまして、厳しい経営環境に直面している中小事業者等に対し、償却資産と事業用家屋を対象に固定資産税の負担を軽減する措置を設ける予定となっております。減額の規模は、令和2年2月から10月までの任意の連続3か月間の売上高が前年の同期間と比べて30%以上50%未満減少している中小事業者等の固定資産税は2分の1、50%以上減少している中小事業者等の固定資産税を全額免除するという内容となっております。当該措置は、令和3年度の課税分に限定され、この措置による固定資産税の減収額につきましては、全額国費で補填される予定となっております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 固定資産税の軽減措置については、全額国費で賄われるという今答弁と、全体的なものについてははかりかねるということでしたけれども、いつまでには大体見えてくるというのはあるのですか。

○ 仲里邦彦 委員長 大城博郎財政課長。

○ 大城博郎 財政課長 新年度予算編成するに当たって、今月の末に予算編成方針、予算編成説明会を行って、年末に向けてやっていくのですけれども、その中で税について、ほかの歳入につきましてもある程度の見込みというものが出されてくるかとは思いますが。ただ、その額が実際予想どおりの例えば減になるのか、それとも横ばいになるのかというのは開けてみないと分からないのですが、恐らくはあらかじめの見込みは予算の見積書の提出時点では各所管課のほうで算出されたものが出てくるかというふうに今考えております。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 では、その予算編成方針出す頃には各課からの大体の歳入の見込みというのは出てくる。

○ 仲里邦彦 委員長 大城博郎財政課長。

○ 大城博郎 財政課長 予算編成方針は、あくまでも予算の説明会をするためのときにやるもので、各課の締切り自体が大体11月末ぐらいなので、その頃には各課なりに見込んだ歳入なり歳出なりが出てくるかと

いうことになります。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 分かりました。あと、基金の部分で財政調整基金、これが今残高幾らですか。

○ 仲里邦彦 委員長 大城博郎財政課長。

○ 大城博郎 財政課長 約13億円です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 この13億円という額については、これまでと比較しても低い、かなり少ないという状況があると思うのですが、それについて今後このまま厳しい状態続くのか、それとも回復していく見込みなどがあるのかについてお聞きいたします。

○ 仲里邦彦 委員長 大城博郎財政課長。

○ 大城博郎 財政課長 おっしゃる様に厳しい状態は続いていくかと。ただ、交付税の大きい波がちょっと過ぎるので、大幅な影響というのはちょっと少なくなるのかなと。ただし、今おっしゃる様にコロナ絡みの歳出予算、現状においては臨時交付金なりを使って歳入は補填されているような状況でありますけれども、それが無い状況でも歳出が必要になってくる事業等が出てくるかもしれませんので、それに対して備えていかないといけないということであれば、ややちょっと少ないではあるのですが、ただ今年を乗り切れれば、ある程度ちょっと持ち直せるかなというような感じもありますので。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 西銘 健委員。

○ 西銘 健 委員 この国の臨時交付金でまた補填というのは、財政調整基金にまた戻せる部分というのは、見通しとして額が今の時点にありますか。

○ 仲里邦彦 委員長 大城博郎財政課長。

○ 大城博郎 財政課長 今のところで財政調整基金だけにというところでちょっと今言うのは、具体的には見通しはないのですが、12月補正とか、その頃にはある程度執行残とかその辺も含めてちょっと減額、歳入見込みができれば財政調整基金に戻せるかなという形はあります。臨時交付金ではちょっとまだはっきり分かりません。以上です。

○ 仲里邦彦 委員長 ほかに質疑ございませんか。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 質疑がないようですので、以上で財務部に対する審査を終了いたします。財務部の皆さん、御苦労さまでした。

○ 仲里邦彦 委員長 休憩いたします。(休憩時刻 午後 3 時06分)

○ 仲里邦彦 委員長 再開いたします。(再開時刻 午後 3 時09分)

これより議案第51号令和元年度浦添市一般会計歳入歳出決算認定についての討論に入ります。

(「進行」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 討論なしと認め、討論を終結いたします。

ただいま議題となっております議案第51号についてを採決いたします。

本案は認定すべきものとすることに御異議ありませんか。

(「異議あり」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 異議がありますので、挙手にて採決いたします。

本案は認定すべきものとすることに賛成の委員の挙手を求めます。

(挙手多数)

○ 仲里邦彦 委員長 挙手多数であります。よって、本案は認定すべきものとすることに決しました。

お諮りいたします。本委員会で議決された事件に係る条項、字句、数字、その他の整理を要するものについては、会議規則第108条の規定により、その整理を委員長に委任されたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

○ 仲里邦彦 委員長 異議なしと認めます。よって、条項、字句、数字、その他の整理は委員長に委任することに決定いたしました。

以上をもちまして一般会計決算審査特別委員会を閉会いたします。

(閉会時刻 午後 3 時10分)